



国分寺小 校長室だより

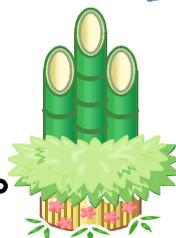


椎の木陰

令和3年 1月8日



明けましておめでとうございます。
今年がみなさまにとって良き年と
なりますことをご祈念しています。



松の内も本日まで、元気な子どもたちの声が学校に戻って参りました。この休み中、事件・事故の報告もなく、子どもたちが登校できたことがなにより喜びです。新年の学校生活が旧年よりも充実したものとできるよう、職員一同力を合わせて参ります。今年までと変わらぬ、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。さて、今年度は、教育活動において大きな制約があり、目指す授業の実現や諸活動の実施が思うに任せない状況です。今年度中は、この状況の改善は難しいかもしれません。そのような中でも、集中して学習に取り組んでいる子ども達の姿に励まされ、十分とは言えないながらも例年同様の進度を確保し、できる活動・できなかった活動の補完に努めて参りました。残された3ヶ月を使い、1年間のまとめをしっかりと行い、学習の定着を図って参ります。ご家庭におかれましても家庭学習・自主学習の定着が図れるよう、子ども達へのご支援をお願いいたします。

年始の校長講話

今年、丑年、校長先生の干支です。干支は12年で一回りします。では、校長先生は何歳になるでしょう。校長先生もずいぶん長い間、学校の先生を続けてきました。38年間になります。中学校と小学校の先生を交互にしたり、下野市と芳賀地区を行き来して先生をしてきました。3ヶ月だけですが幼稚園に勤めたり、養護学校の子ども達と過ごしたりした時期もありました。とても懐かしく思い出です。



そのような先生としての経験の中で思ったことがあります。それは、どこに行っても先生としてすることは同じなんだという事です。それは、子ども達に寄り添うこと、『良いところを褒め、できると励まし、喜びを共にすること』です。授業をしている時も一緒に遊ぶ時も、掃除も給食の時もこのことが根っこにあって指導・支援するべきだということです。

校長先生は、この考えをもとに毎年の目標を決めています。ちなみに、今年一番大切にしたのは『朝の立哨で皆さんを笑顔で元気に迎えること』でした。寄り添い励ますはできていましたか？

さて、皆さんはどうでしょう。小学生として根っこにもつべきことは何でしょう。それは、『自分を自分が成長させること』や『お友達や先生・家族など自分と一緒にいてくれる人たちのことを考えて生活すること』ではないでしょうか。1年生は1年生なりに、そして小学生のプロである6年生はなおさらのこと『周囲への心配り』について考えてほしいものです。できれば、このことをもとに新年の目標を立ててもらえればうれしく思います。

まとめます。新年を迎え、『自分のために自分はどんな努力をしていくか』や『大切な人たちのために自分ができる心配り』について考えてみてください。

学習指導主任の話

みなさんは、学校でも家庭でも、いろいろな学習に取り組んでいます。なぜ、そんなにたくさん学習しなければならないのでしょうか。「おうちの人や先生が褒めてくれるから」「テストで100点を取りたいから」という理由で学習する人もいるかもしれませんが、それも素敵な理由だと思いますが、先生は他の理由を考えてみました。「分かった!」と思うと自信が付き、もっと自分を好きになります。分かったことが増えると、世界が広がり、生活がもっと豊かに、楽しいものになります。だから学習が必要なのだと思います。



1月19日、21日には学力テストがあります。みなさんが、この1年間学習してきたことがどのくらい理解できたのかを、確かめるよい機会です。「分かった!」を増やしていけるように、復習ができるといいですね。そして、それぞれの『なりたい自分』に近づけるといいなと思います。

児童指導主任の話

普段みなさんには、児童指導主任として、様々なことをお願いしてきました。帰宅時間や自転車の乗り方、道路の横断方法など安全面に關わる内容が多かったように思います。それは、自分の身は自分で守れるようになってほしいからです。また、国小のみなさんは「時を守り、場を清め、礼をただす。」に基づき、落ち着いて生活することができている子が多いです。先生はとてもうれしく思います。時には、失敗しそうになること失敗してしまうこともあるでしょう。そんな時には、今自分がしようとしている行動が本当に正しいのかどうかをよく考えてください。みなさんなら正しい判断がきっとできることと思います。判断に迷ったら、先生に相談してください。一緒に考えましょう。



さて、新しい年が始まりました。今年は丑年。牛は、性格が穏やかであり、えさをよく食べ、安心してよく寝る動物です。みなさんも、そんな穏やかな心で、少しのことには動じず、健康的な生活を送れるようにしましょう。

養護教諭の話

新型コロナウイルス感染症の拡大が心配されていますが、これからの時期は、新型コロナウイルス感染症に加えて、インフルエンザや感染性胃腸炎が流行する時期となります。

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの症状は見分けが付きにくく、国分寺小学校のように多くの方が生活する大規模校では、感染症の流行が始まるとあっという間に流行が拡大してしまいます。そのため、今後は一人一人がより一層気を引き締めて、注意を払っていかねばなりません。

マスクの着用は勿論のこと。健康チェックカードへの記入を毎朝登校前に行い、食欲や元気がない等いつもと違っているときは無理して登校せずに、家で経過観察をしましょう。国分寺小学校の子ども達が元気で楽しい学校生活を送れるように『感染症はみんなで予防しましょう!』。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



～校庭や学校周辺に落ちているゴミをなくしたいですね。～

銀杏の落ち葉集める季節から、校庭や学校の周辺を週に2度見て歩くようにしました。最初は、安全点検のつもりで始めました。最近では、もう一つ目的ができました。それは、ゴミ拾いです。月曜日になると多くはありませんが、駄菓子の袋などが落ちています。学校の周辺を歩けば、空き缶やペットボトル・たばこの吸い殻などを目にします。地域を挙げて、きれいな環境作りを進めたいものです。児童の皆さんには、学校だけでなく公園など、自分たちの遊ぶ場所についてもゴミの管理をお願いしたいと思います。